

青森市匠の職人（平成21年度受賞）

おだぎり よしひろ 小田桐 吉津（宝石加工工）

「錦石と目と心で会話しながら」

主な受賞歴 '02年 青森県伝統工芸士認定
'04年 伝統的工艺品産業功労者褒賞
希少工艺品産地部門褒賞受賞
'12年 青森県卓越技能者表彰受賞
問い合わせ先 小田桐錦石研究所
〒038-0014
青森市西滝3丁目19番27号
TEL 017-781-2347

【取材レポート】

青森県特産の天然石で、浜に打ち上げられた色とりどりの石が、あたかも錦織りのようであることからその名が付けられたとも言われている錦石は、観賞用ばかりでなく、指輪やブローチなどのアクセサリーも作られ、郷土の特産品となっています。

小田桐さんが、本格的に錦石の製作に取り組んだのは昭和38年。当時は、参考にできる資料もなく、自分一人で石の研磨技術を研究し、試行錯誤の末に独自のカット技術「シャンドンリアカット」を完成させました。

その功績により、平成14年には青森県の伝統工芸士に認定され、平成16年には財団法人伝統的工艺品産業振興協会から「伝統的工艺品産業功労者希少工艺品産地部門褒賞」を授与された小田桐さん。

「一つとして同じ顔を持たない錦石の個性を引き出し、自然が創ってくれた色彩をどう活かすかを考えながら、全ての工程を一人で行うため、量産はできないが、逆に手がかかるから楽しい。だからこそ、良いものができたときには、自然と笑みが出る。」

『匠の職人』は今も、錦石と目と手と心で会話しながら新たな作品づくりに取り組んでいます。



小田桐さんによって様々な形にカットされた「錦石」です。